

国連持続可能な開発のための教育の10年

ESD *Education for Sustainable Development*

の“これから”をデザインする

— 地域のESD実践から —

ESD-J2007 活動報告書



はじめに

ESD-J 代表理事 阿部 治

ESD-J の設立 5 年目、ESD の 10 年 3 年目であった昨年も、ESD-J は国内外における ESD の 10 年の推進にむけて大きく貢献してきた。とくに、本報告書にも詳細が記されているが、政策提言にかかわる分野での ESD 推進議員連盟の設立や ESD 国内実施計画にもとづく円卓会議の具体化などは、今期の主要な成果の一つである。また、経済界への ESD の浸透は懸案事項の一つであったが、経団連の協力を得て、加盟企業へのセミナーの開催や関心の高い企業への ESD 研修など、一定の成果を得ることができた。このような前進面がある一方、新学習指導要領への ESD のインプットにおいては、大きな壁があることも思い知らされることとなった。各活動の到達点は本書を参照していただきたい（☞ 100 ページ～）。

さて昨年、環境教育に関する大きな国際会議が 2 つ開催されたが、幸運にも両方に参加することができた。一つは、2 年ごとに開催されている環境教育の国際会議である第 4 回世界環境教育会議（於：南アフリカ共和国・ダーバン）と、1977 年以来 10 年ごとにユネスコが各国政府と協力して主催してきた環境教育会合である第 4 回環境教育会議（於：インド・アーメダバード）である。両会議ともに ESD は主要なテーマであり、ほとんどの発表がなんらかの形で ESD にかかわるものであった。ESD はいまや環境教育の主流というよりは、環境教育から ESD への流れが主流になっていることを確信する機会となった。

なかでも、アーメダバード会議においては、2006 年から ESD-J が取り組んできたアジア ESD 推進事業（AGEPP）ワークショップを開催し、アジアの ESD の取組みおよび ESD-J の存在を世界に知らせることができた。このワークショップには、欧米を含む世界各地から環境教育や ESD のエキスパートが参加し、われわれの取組みに大きな関心を示すとともに、世界の ESD におけるアジアの役割や、AGEPP にみられる ESD-J のイニシアチブに大きな期待の声が寄せられていた（☞ 124 ページ）。

昨年 5 月に国連本部に於いて開催された第 15 回 CSD（国連持続可能な開発委員会）会合においても、ESD-J の取組みを紹介する機会を得たが、そのさいにも参加者から同様な期待の声を聞くことができた。ESD-J の活動に皆一様に驚き賞賛してくれるのは、ESD-J のようなネットワーク組織が他国には存在していないことが大きな理由である。すなわち、多様な NGO がネットワーク組織を形成し、政府・企業をも含めたオールジャパンの活動を促進、さらにアジアのネットワークまでもつくりだしていること、などである。

私たちが ESD-J を設立した原点は、ESD の 10 年の提案者としての責任を果たそうという一点であった。他国にはないユニークな存在に成長した ESD-J の存在理由はまさにここにある。来春に予定されている ESD の 10 年中間会合（於：ドイツ）にむけて、再度、この一点を共有し、持続可能な社会の実現にむけて私たちに課された課題を確認し、その到達点を冷静に評価し、今後の戦略を練ることが求められている。

目 次

第1章 ESDの“これから”をデザインする〈ESD-J全国ミーティング2008〉

全国ミーティング・かけ足レポート	4
【基調講演】ESD推進における国際動向	6
【全体会（1日目）】ESDの今とこれからを知る	
国連大学高等研究所によるESDに関する地域拠点（RCE）づくりの進捗状況	7
日本政府のESD推進方策とは？	7
地域におけるESDの取組みと課題～中部地域からの発信～	10
中間年にむけたESD-Jの活動戦略	13
【分科会】ESD事例発表	15
【ESD研究会】ESDの“これから”をデザインする	
研究会1 地域のESDを促進するしくみ	20
研究会2 都市と農村とESD、食と農を切り口に	22
研究会3 学校でのESD実践、ESD教材	24
研究会4 みんなで話そう～“わたしと世界とESD”	26
研究会5 ESDコーディネーター養成講座	28
【全体会（2日目）】ESDのこれからの創造する	
パネルディスカッション「ESDのこれからの創造する」	30
参加者の声～アンケートより	32
【パネル展示】会員発！ 私たちのESD実践	34

第2章 2007年度事業をふりかえって〈ESD-J活動総括〉

ESDを支援するしくみづくり、2年目	38
各プロジェクトチームのミッションと2007年度の目標	39
各プロジェクトチームの成果と課題	40
2007年度ESD-Jの事業一覧	46
ESD-Jの共催・協力・後援事業一覧	48
会員アンケート！ ESD-Jへの期待と評価	49

第3章 地域のESDをサポートする〈地域ネットワークプロジェクト〉

地域ネットワークプロジェクト 2007年度の活動	56
プロセス抽出プロジェクト	
プロセス抽出ワークショップとは	58
東京都板橋区ワークショップ	59
岡山市京山地区ワークショップ	63
「地域の学び」が発展してきた歴史から学習戦略を抽出する	67
2年目のシナリオづくりプロジェクト	
ESD分野連携ワークショップとは	78
[宇都宮市ワークショップ] 持続可能な「うつのみや」をみんなで考えよう！	80

[豊田市ワークショップ] 分野を超えて、新・プログラムをつくってみよう！	84
[神戸市ワークショップ] ESDワークショップ inKOBE	88
ESD分野連携ワークショップのまとめ～次年度にむけて	93
[アンケート] ESDをはじめ、すすめる地域の期待と課題	94
地域のESDの動きを共有する「ESD地域ブログ」	97

第4章 ESDをすすめる政策を提案する〈政策提言プロジェクト〉

政策提言プロジェクト 2007年度の活動	100
2007年参議院議員選挙にむけた公開質問状	102
ESD推進議員連盟への働きかけ	104
ESDの10年円卓会議	106
学習指導要領改訂にむけたパブリックコメント	109
緊急提言：ガソリン税の上乗せ分は「地球税」に！	110
環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年」促進事業	112

第5章 アジア・太平洋地域でESDをすすめる〈国際ネットワークプロジェクト〉

国際ネットワークプロジェクト 2007年度の活動	124
AGEPP～アジアのESD実践を交流する	126
AGEPP事例一覧	129
ようこそ！ 国際ネットワークカフェ（N'Café）へ	136
ESDの評価に関するヨーロッパ地域の実施動向	138
国際PTメンバーだより	145

第6章 ESDを学び、伝える〈研修・普及啓発プロジェクト〉

研修および普及啓発プロジェクト 2007年度の活動	148
ESDを広める人のための「ESD入門講座」in 清里ミーティング2007	150
ESD入門講座解説資料	152
学校教育におけるESDの可能性を考える～教員むけESD研修を実施して～	154
企業むけESDセミナーの開催	156
ESD学習会報告 ボランティアとESD-J双方の学び	160
2007年度講師派遣リスト	162

第7章 ESD情報を共有する〈情報共有プロジェクト〉

情報共有プロジェクト 2007年度の活動	164
ESD-Jウェブサイトの運用	166
2007年度のESDレポート	168
地域プロジェクトレポート	169

ESD と ESD-J を伝える新ツール ESD リーフレット『持続可能な社会のための人づくり』	170
メールマガジン「ESD つながるマガジン」の発行	170
会員アンケート！ ESD-J の情報媒体をどう評価する？	172
ESD レポートより	
シリーズ 学びの場をデザインする	
「むら」のくらしがぼくらの先生！ 緑のふるさと協力隊	176
学校を世界に開く～学校全体で取り組む ESD	178
チョコレートから世界が見える—— NGO と教員で ESD 教材を共同開発	180
お答えします！ ESD なんでも相談室	182
ESD 基本用語集	183
情報 PT メンバーだより	184

第 8 章 ESD 関連資料

ESD 関連の記事・論文など	186
持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点（RCE）認定地域	188
ACCU-UNESCO アジア太平洋地域 ESD 事業における拠点および事例	190
環境省 ESD 促進事業 採択地域	191
文部科学省 現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）	192
「持続可能な開発のための教育の 10 年」の更なる推進に向けたユネスコへの提言	195
教育基本法および新学習指導要領における ESD	199
2006 年度決算報告書	204
2007 年度事業計画	206
2007 年度予算	211
役員・顧問等一覧	212
団体正会員名簿	213
制作協力者／制作協力団体	214